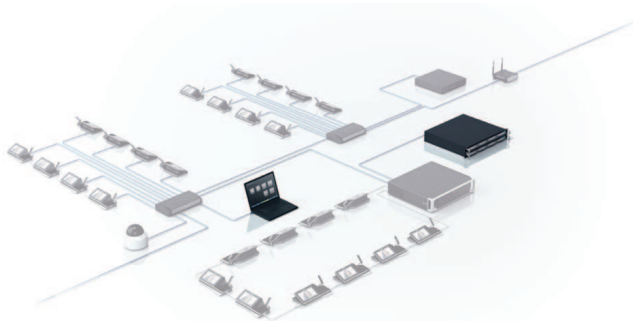


DCNM-LVPM 投票準備および管理ライセンス

DICENTIS



DICENTIS 投票準備と管理のソフトウェアモジュールは、DICENTIS システムソフトウェアでの 1 つまたは複数の投票の準備と管理機能を容易にします。これにより、地方議会や国会で必要になる、投票セッションの高度かつ効率的なセットアップおよび管理を行うことができます。

機能

投票準備

「投票準備」機能により、幹事や書記は 1 つまたは複数の投票を準備して会議に追加できます。投票は直ちに準備したり、後日更新したりできます。投票は簡単に撤回でき、不要になった場合は簡単に会議から削除できます。投票の準備時に、幹事や書記は以下のようなパラメータを設定できます。

- 投票参照番号。
- 投票案件名。
- 投票の説明。
- 投票のシーケンス（会議中に使用する投票の順番）。
- お客様のコンテンツ管理システムまたは DICENTIS マルチメディアサーバーに保存されているドキュメントにアクセスするための URL（リンク）。
- 国や地域に合わせて変更可能な投票の回答セット。さまざまな回答セットを選択可能（例： [はい/いいえ] または [賛成/反対]、[棄権]、[DNPV]）。
- 投票タイマーのオプション。投票タイマーを設定して、投票に割り当てられる時間を制限することができます。割り当てられた時間を超過すると投票が自動的に「保留」、「締め切り」、または「続行」状態になるようにできます。

- ▶ 投票は事前に準備可能で、会議時に簡単に選択可能
- ▶ 各投票権は参加者ごとに定義可能
- ▶ 投票後または会議後の分析のために、投票データは安全に保管され、簡単にアクセス可能
- ▶ 公開投票と無記名投票で、合計結果や中間結果のオプション
- ▶ システム API 経由でサードパーティから簡単にデータにアクセス可能

- 結果の表示方法。投票結果（集計結果や個々の結果）をライブで更新して表示すること、投票の締め切り後または投票が保留中に投票結果を表示するようにすること、各参加者の投票のみをそれぞれの DICENTIS 投票機能付きディスクッションデバイス、DICENTIS タッチスクリーン付きディスクッションデバイス、および DICENTIS マルチメディアデバイスで表示することもできます。非公開投票のためのオプションもあります。非公開投票が選択された場合、個々の結果は表示されず、DICENTIS サーバーから、または API 経由で取得することもできません。他の参加者の投票行動に影響を与えないことを防止するため、投票したかどうかということ自体を非表示にすることもできます。
- さまざまな 100% 設定を定義することで、投票が受理または拒否されているかを容易に判断できるようになります。これらの設定により、会議メモの円グラフや投票結果ファイルにおける投票のカウント方法が決定されず（投票権がある全参加者、または投票権があり出席している全参加者がカウントされます）。
- 議長、幹事または書記は、定義可能な多数計算に基づいて、提案が受理されたかどうかを確認できます。
- 格差は投票ごとに有効にできます。会議の参加者全員の格差を構成できます。オプションにより参加者は欠席者のために投票すること（代理投票）ができ、オプションはすべての投票タイプ（無記名、記名など）で使用できます。

参加者の投票権は会議ごとに設定できます。投票権がない参加者も議事に参加でき、投票結果を参照できます。「設定をデフォルトとして保存」機能により、以前に使用された投票の設定に基づいて新しい投票を迅速かつ正確に作成できます。

各投票の詳細は、会議アプリケーションおよび DICENTIS デバイスで（フルスクリーンで）表示できます。

投票管理

議長は次を行えます。

- 投票リストから準備済みの投票を簡単に選択して、直ちに使用可能にする。
- 投票のすべての詳細を、参加者と共有する前に確認する。
- 投票が不要になった場合にその投票を撤回する。

ソフトウェアモジュール DCNM-LSID を有効化すると、次が可能になります。

- 出席者と欠席者の数が各投票で表示されます。
- 議長は、投票に参加する前に必ずログインすることを参加者に義務付けることにより、信頼性の高い投票結果を得ることができます。この情報は、自動で生成される投票メモに保存されません。
- 議長は、定義可能な定数計算に基づいて、会議を続けたり投票を開始したりするために投票権のある参加者が十分にいるかどうかを判断します。

参加者は投票が開始される前に、投票案件に関する詳細情報を確認できます。議長が投票を開始すると、参加者は投票ボタンを選択して提案に投票するように求められます。投票中に議長は、投票の保留/再開、中止、および締め切りを選択できます。ボタンは完了した投票の受理または拒否でも使用されます。投票ページの一番上にあるボタンを選択することによって、前回または次回の投票を簡単に表示できます（ボタンは直観的に使用できます）。

投票結果

投票結果は、DICENTIS マルチメディアデバイス、DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイス、および会議アプリケーションに棒グラフとして表示できます。シノプティックマイクコントロールでは、投票結果をシノプティックレイアウトで表示できます。

投票データは DICENTIS サーバー上の改ざん検知機能がある XML ファイル内に安全に保管されます。これにより、投票後および会議後の分析のために、XSLT テンプレートを使用してそのデータに簡単に表示できます（例：投票結果を会議の転写に追加できます）。次の情報を簡単に取得できます。

- 参加者の名前と国名
- 会議名と説明
- 議題案件名と説明

提供:

Asia-Pacific:
Asia-Pacific:
 Robert Bosch (SEA) Pte Ltd,
 Security Systems
 11 Bishan Street 21
 Singapore 573943
 Phone: +65 6571 2808
 Fax: +65 6571 2699
 apr.securitysystems@bosch.com
 www.boschsecurity.asia

- 投票の詳細（投票の案件と説明を含む）
- 投票の開始/終了の日時
- 合計および個々の結果

ソフトウェアモジュール DCNM-LPD を有効化すると、次が可能になります。

- 議長、幹事または書記は、定義可能な多数計算に基づいて、提案が受理されたかどうかを確認できる

システム API により、外部アプリケーションから投票データに簡単にアクセスすることもできます。

臨時投票

議長は、会議中に参照番号、案件名、説明の情報フィールドに入力することで、投票リストビューから「臨時」投票を実行することができます。この投票の結果は DICENTIS サーバーにも保存され、必要に応じて後日取得することも可能です。

付属部品

| 数量 | コンポーネント |
|----|-----------------------|
| 1 | 電子メールでライセンスの有効化情報を配信。 |

技術仕様

| | |
|------------------|---|
| DICENTIS 会議システム: | <ul style="list-style-type: none"> DCNM-LSYS ライセンス |
|------------------|---|

オーダー情報

DCNM-LVPM 投票準備および管理ライセンス

投票の準備と管理を有効にします。DCNM-LMPPM ライセンスが必要です。個別の座席ライセンス (DCNM-LSVT) は、各 DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイスやマルチメディアデバイス、会議アプリケーション、および API クライアントに対して必要です。

オーダー番号 **DCNM-LVPM | F.01U.308.595**